

チキ

神竜王ナーガの娘、神竜への変身が可能。

頭も体も幼女、の割りに戦闘能力がずば抜けているので利用されたり強制的に眠らされたりしている可哀そうな子。

今回は御付の爺さん（バヌトゥ）は参加してません。

余談だが、成長すると高身長のナイスバディになる事が予想されている。

具体的には公式HP「新暗黒竜」の神竜ナギの全身画像を参照の事。

【人稱】

一人稱 わたし

二人稱基本 おじちゃん、おねえちゃんといった子供表現

【関連人物への呼称】

マルス 「マルスおにいちゃん」

【能力】

その本性と力を神竜石に封じてあるため、そのままでは一般人も同然だが、神竜石を使用して変身すれば桁違いの能力を見せつける。

霧のプレスによる攻撃は一切の防御が無効である上、全ての竜に特効である為、物語終盤の敵マムクート相手（特にメディウス相手）においては非常に重宝する。
...実は神竜石のみならず、火竜石、飛竜石、魔竜石、氷竜石までもが扱えたりする。
流石はマムクートプリンセス。

【名（迷）台詞】

（読み易さと構成の都合上、三点リーダーと漢字のみ修正してあります。）

「ううん...元気じゃない。

司祭様がね、また眠らなきゃダメだって言うの。

でも、わたしもう...イヤ。

だって、ずっと長い間、一人で眠ってたんだよ。

何度も、怖い夢を見たわ。

あの、かわいそうな火竜や氷竜のように、わたしもけものになってしまうの。

そして、人間を襲って殺してしまうの。

いやー...やめてー...って叫んで、目が覚める。

でも、まっくらな部屋で一人ぼっちで...。

気がおかしくなるくらい怖かった...恐ろしかった...。

でも、部屋からは出してもらえなかったわ。

わたし、何度も泣いたの。

バヌトゥのおじいちゃまは、そのたびに、わたしを慰めてくれた。

そして、ある日、わたしを連れだして人間の村に連れて行ってくれたの。

村の暮らしは、楽しかった。

みんなとっても優しくしてくれて...。

ガーネフに見つかるまでのわずかな間だったけど、本当に幸せだった。

わたし、もう眠るのイヤ...。

今度、目を閉じたらもう二度と目覚めないような気がする。

そんなのイヤだよ。

わたし、みんなと一緒に暮らしたい。

眠りたくないよ。」

「おにいちゃん！！

わたし、もう氷の神殿へ帰らなくてもいいんですよ。

うれしい！

だって、わたし、みんな大好きなもの。

あんなさみしいところで一人ぼっちなんて、もうぜったいイヤなもの。

ほんとに...夢みたい。

うれしくて、うれしくて、マルスのおにいちゃん大好き！！」

【支給品】

ブリュンヒルド@タクティクスオウガ

シャンタージュ@FFT

以下、ネタバレを含む

開示する